

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	1	質問者(会派)	田中昌幸(民主クラブ)
----	---	---------	-------------

項目	要旨
1. 市立病院の経営状況について	(1) 国が指定する第二種感染症指定医療機関として、昨年2月中旬以降、新型コロナウイルス感染症に対応するため、受入れ病床確保の要請を受けて来たが、空き病床の確保などに対する国からの補填状況と、診療抑制などによる病院経営への影響について伺う
	(2) 2020年度市立病院の決算見込み及び不良債務残高の状況について伺う
2. 2020国勢調査速報値による人口動態について	(1) この間の人口減少の推移と2020年国勢調査速報値に対する市の評価について伺う
	(2) 過去にも、国は人口急減自治体の急激な交付税減少に配慮し措置を講じているが、ここ5年間の地方交付税算定と影響額について伺う
	(3) 人口減少による、2021年度以降の交付税算定への影響について伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	1	質問者(会派)	田中昌幸(民主クラブ)
----	---	---------	-------------

項目	要旨
3. 移住者への「農地付き空き家」提供の取組について	(1) 移住者にとって、家庭菜園などが出来る「農地付き空き家」提供は魅力的であり、少なからず希望があると思われるが、移住促進の面からの取組について伺う
4. プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に関わる市への影響について	(1) プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について、取り組むべき市の具体的な責務を伺う
	(2) 来年4月の法律施行に向けた市としての対応について伺う
5. 職員コンプライアンスについて	(1) 職員のコンプライアンスマニュアルの配付と使用について、4年前にはマニュアルはなかったが、その後の市の取組について伺う
	(2) 相談しやすい職場環境をつくることや、職員に対しての研修をどのタイミングで実施しているか伺う
	(3) 業務のデジタル化により、とかく職場内での会話が消えている状況ではあえて、職場内の日常的な声かけなど、コミュニケーション醸成が必要となるが、取組の考えについて伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	2	質問者(会派)	大前昭代(民主クラブ)
----	---	---------	-------------

項目	要旨
1. 差別をなくす取組について	(1) 人権問題や差別などの相談窓口の設置及び利用の状況と周知方法について伺う
	(2) 深川市における外国人労働者について、労働者数及び雇用形態を伺う
	(3) 差別を考える、学ぶための授業や研修など、実施の実態と今後の見通しについて伺う
2. 高齢者の雇用と生活について	(1) 65歳以上の市民で、現在就業されている方の人数及び割合、就労形態の把握状況を伺う
	(2) 高齢者の方々に対する職業訓練や自己啓発など、スキルアップにつながる事業の周知などの実施状況を伺う
	(3) 高齢者のスキルアップなど支援の取組に対する考えや展望を伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	2	質問者(会派)	大前昭代(民主クラブ)
----	---	---------	-------------

項目	要 旨
3. 家庭の社会経済的地位による教育格差について	(1) 学習サポートプログラムの実施状況を伺う
	(2) コロナ禍に陥ってからの就学援助制度の利用状況を伺う
	(3) 学力格差について、学校や生徒に対する調査の実施や学習支援などの実績と今後の展望を伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	3	質問者(会派)	宮澤孝司 (令和公明クラブ)
----	---	---------	----------------

項目	要 旨
1. コロナ禍における地域経済対策について	(1) 緊急事態宣言における支援経過について
	(2) 緊急事態宣言後の事業者支援を含む地域経済対策の考えについて
2. コロナ禍における大学生に対する支援について	(1) これまでも拓殖大学北海道短期大学生に対する様々な支援が行われているが、今後の支援策として家賃補助に取り組む考えについて
3. 防犯カメラ設置について	(1) 市内防犯カメラの設置状況について
	(2) 新規の設置と運用に向けたガイドライン等の考え方について
4. 深川市協働のまちづくり事業補助金について	(1) 本事業の実績について
	(2) 事業内容の見直しについて

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	4	質問者(会派)	小 田 雅 一 (公政クラブ)
----	---	---------	-----------------

項 目	要 旨
1. コロナ禍における雇用状況について	(1) 直近3年間の有効求人倍率の推移について
	(2) 市内高校、大学卒業者の就職状況について
2. 新型コロナワクチンについて	(1) 市内におけるワクチン接種の進捗状況について
	(2) 健康福祉センター「デ・アイ」での接種体制について
	(3) 今後のワクチン接種の進め方について

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	4	質問者(会派)	小 田 雅 一 (公政クラブ)
----	---	---------	-----------------

項 目	要 旨
3. 公共施設等総合管理計画について	(1) 公共施設等総合管理計画の概要について
	(2) 基本方針の数値目標において、令和元年までに公共施設の総延床面積を5%削減するとしているが、その現状について
	(3) 今後の市の考え方について
4. 中学校統合に伴う小学校間の交流について	(1) 中学校統合による関係小学校間での交流の取組状況について
	(2) 小学校間の交流を低学年から行ってほしいとの声があるが、教育委員会としての考えを伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	4	質問者(会派)	小田 雅一 (公政クラブ)
----	---	---------	---------------

項目	要 旨
5. 鳥獣害防止対策について	(1) 市内でのエゾシカ・アライグマ対策の取組について
	(2) エゾシカ・アライグマによる農産物被害の状況及び駆除頭数について
	(3) 被害が発生した場合の防止対策の考え方と取組メニューについて
6. 令和2年度の合宿状況とエフパシオの運営について	(1) 令和2年度の合宿状況と3年度の合宿の見通しについて
	(2) 施設の運営収支が厳しい状況にあると考えるが、市としての対応について
	(3) 今後における施設の利用促進について、市の考え方を伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	5	質問者(会派)	太田 幸一 (新政クラブ)
----	---	---------	---------------

項目	要 旨
1.『新型コロナワクチンの総量確保』に問題あり	(1) 日本は、先進国との比較でも『保健・医療』にかかる予算が少なく、『人命第一』の考えが厚生労働省あたりに薄く、新型コロナウイルス感染症の重症化防止対策をみても、病院の『重症病床』が飽和し、十分な対応ができていない。したがって、ホテルや自宅等での代用病床では重症者を守り切れず、『医療崩壊』が大都市を中心に進行している。「発熱外来」と『感染者用の病棟』を持つ深川市の、「他山の石」の立場からの思いを伺う
	(2) 『新型コロナワクチン』の輸入量は国際比較でも圧倒的に少なく、イギリス国民は50%の接種率に対し、日本国内では、4月半ばの段階で『医療関係者』の3割しか接種が進んでいない。4月12日の週から『65歳以上の高齢者』への新型コロナワクチン接種の受け付けが始まった札幌市では、対象者54万人に対し、僅か0.18%にあたる一千人分しか到着していない。『医療関係者』の約7割が未接種の状態であり、同じ自治体の高齢者へのワクチン提供も少なく、『さみだれ接種』により集団免疫効果が得られない状況に、自治体の立場からの思いを伺う
	(3) 突如、『モデルナ社』のワクチンが、国民に知らされていない中で『50万回分が関西空港に到着』と報道された。アメリカでは承認されているが、臨床試験と治験を含めて未知の箇所が多く、不安な環境の中にいる国民は「知りたい」思いが強い。ワクチンの治験を含めた実態について伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	5	質問者(会派)	太田幸一(新政クラブ)
----	---	---------	-------------

項目	要旨
1.『新型コロナワクチンの総量確保』に問題あり	(4) 日本国内で「国内製薬会社が、アストラゼネカ社製ワクチン株から『製薬開発』を進めている事が報道に上がった。現時点で、『血栓症のリスク』があることから使用が中断されている状況にもかかわらず、「厚生労働省の承認は2年後になる」としている。この国のちぐはぐな対応について、市民を守る自治体としての思いを伺う
	(5) 厚生労働省が感染状況の指標となる『病床使用率』の算出方法を変更し、「病床不足でホテル等の仮設病床への隔離や自宅での隔離指示」となっている患者を除外したことで、ステージ4の爆発的感染拡大にあたる都道府県は約半減したが、深川市としての思いを伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	5	質問者(会派)	太田 幸一 (新政クラブ)
----	---	---------	---------------

項目	要 旨
2. 福島原発事故等『原発のずさんさ』を問う	(1) 原発は全国的に一時期「全面停止」を行った状態からも明らかなように、『原発ゼロ』の可能が証明されている。福島原発事故を二度と繰り返さないため、各種安全性や重大な問題性の視点からも『原発ゼロ』に舵を切るべきと考える。国民の健康と安全を無視する打算の施策「原発で地球環境保全のCO ₂ 削減に寄与」の虚妄は要らない。第1次産業が豊かで風光明媚な北海道の自治体「深川市」に生きる立場からの考察を伺う
	(2) 福島県漁業協同組合連合会と東京電力が交わした『関係者の理解なしにいかなる処分もしない』との約束をほごにし、菅内閣は一方的・高圧的に閣議決定し「風評被害は東京電力負担」とした。やっとの思いで水産物の物流が回復して来たところで、「どこでも海洋放出している」と全面反対の漁業者等のほっぺたを札束でたたくがごとき姿勢は、決して許されるべきものではない。同じ第1次産業に依拠する深川市としての思いを伺う
	(3) 道内においても那須火山帯、積丹岳火山・雷電温泉等が間近にありながら、『高レベル放射性廃棄物』の地層処分場問題を住民の頭越しに進める国やNUMO等から強引ともいえる形で、ここでも札束で進めようとしている。『核のゴミ』と言われる天文学的な量を処理しなければならない「ドロナワ」を、過疎化の進む脆弱な集落に押しつけてはならない。国はこそくな方法を見直し、地域に『分断』を持ち込まず、本来の『創生』や若者に『夢』を与えるべきと考える。子育て環境を重視している自治体『深川市』としての思いを伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	5	質問者(会派)	太田 幸一 (新政クラブ)
----	---	---------	---------------

項目	要 旨
2. 福島原発事故等『原発のずさんさ』を問う	(4) 日本が保有している46トンのプルトニウムは、原水爆の材料になり8キロ爆弾で5750個にあたる量になる。広島・長崎の悲劇を二度と繰り返さないためにも、被爆国の思いとして地球上から原料を含めあらゆる『核』をなくすべきと考えるが、『非核平和』を掲げる深川市として、どのように向かうべきと考えるか
	(5) 『3. 11』以降『福島原発事故』の反省から、「再生可能」・「CO ₂ 削減」の視点において、『地熱発電』利用が民間を中心に全国的に現実化している。統計上、アメリカ・インドネシアに次いで日本の地熱資源量は火山国ゆえに大きい。しかしながら、開発のためのハードルも、「国立公園内・温泉地・掘削費」等の関わりが大きく、加えて、世界が『福島原発事故』以降、脱原発の流れの中で、日本の異常なまでの「原発礼賛主義」により電気料金の異常な値上げを含めて障害となっている。資源量に比べ、熱源利用量が少ない未開発のクリーンエネルギーへの舵切を明確に進め、子や孫に「大気汚染・放射能汚染」のない環境を残すべきと考える。「住みよい町を」目指す自治体『深川市』の思いを伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	5	質問者(会派)	太田幸一(新政クラブ)
----	---	---------	-------------

項目	要旨
3.『こども庁』設置の意味を問う	(1) コロナ禍で不安の中、必死に暮らしを頑張り抜いている、特に子育て世代の苦労が「出生率下落」に表れており、国も子育て世代への支援はしているが総体的に足りていないと見受ける。スウェーデン等北欧諸国との比較でも『民生』へのウエイトが『経済』よりも低くなっている。OECD諸国の中でも遥かに遅れている小中学校の少人数学級化を進め、大学課程の『貸付金』を『給付金』とすべきと考えるが、深川市の考察を伺う
	(2) 幼児教育から始まって、散々に行政縦割りが貫徹され、これ以上分割されることは生徒の中に楔を打ち込むこととなり、既に「改革済であるべき事項」で『名有りて実なし』では意味を見い出せない。財政当局の強固な壁は教師の待遇改善をはじめ基礎学力向上にも、昔から言われていた米百俵の精神が、国に強く求められる。反して国は、こそくにも地方自治体ひいては国民に『負担』を押しつける始末。脆弱な市民・学生の『教育を受ける権利』を改善するためにも、自治体としての思いを伺う
	(3) 国が初めて行った調査により、貧困・窮乏を背景に家族の介護や世話をする子供たち『ヤングケアラー』が存在する驚きの結果が明らかになった。調査対象の公立中学2年生が5.7%、全日制高校2年生が4.1%と、約20人に1人の割合で家族の世話をしている結果だった。この存在は気がかりだが目が届きにくいことが問題で、世話をする『中高生の6割強が誰にも相談していない』という。同世代・社会からも孤立し、学業・進路への影響が大きく、背負う荷物は重い。社会の役割として、実態解明はもとより手厚い進路指導と社会福祉の国家的対策が求められるが、自治体としての温かな思いを伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	6	質問者(会派)	佐々木 一 夫 (新政クラブ)
----	---	---------	-----------------

項目	要 旨
1. 市長の「一点の曇りもない」答弁について	(1) 道の駅カフェコーナーがおにぎりコーナーに変わったことは、明らかに応募要項違反と思われ、まともな決裁もないが、一点の曇りもないことをどのように証明するのか
	(2) 市立病院問題について、私は厚生文教常任委員会で、令和元年7月1日にF電機が謝罪に来たとの説明は違うのではと指摘している。さらに証拠隠滅の疑いもあり、北名議員の質問等で裏づけされたと思うが、一点の曇りもないことをどのように証明するのか
2. 公益通報者の労働条件について	(1) 手当は異動前と比べどうなっているのか
	(2) 4月以降、放射線課技師、主査は月幾らの手当が支給されているのか
	(3) 令和2年10月の放射線課技師の異動は労働条件の不利益変更ではないか
	(4) 通常の人事は地方公務員法における管理運営事項であっても、労働条件が変われば職員団体との交渉事項だと総務省は認めていないか

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	6	質問者(会派)	佐々木 一 夫 (新政クラブ)
----	---	---------	-----------------

項 目	要 旨
3. 公益通報者保護法の答弁についての疑問について	(1) 3月議会での太田議員の質問に対する答弁における法適用の見解は正しいのか
4. 市立病院診療放射線課に関する調査委員会について	(1) この委員会は委員の構成をはじめ公平性を感じない。調査委員会の職員5人は問題の裁判に関係ないのか伺う
	(2) なぜ重大な不正が疑われる2人がそのまま勤務しているのか
5. 市立病院のパワハラ処分について	(1) 訓告を受けた放射線技師のパワハラの内容が、病院野球部の二重帳簿に関してと聞くと聞くと、その注意がなぜパワハラになるのか
	(2) 同じく厳重注意処分を受けた技師が、新人の勤務態度を注意したことがなぜパワハラになるのか
	(3) 管理職が部下に体当たり・暴力をしたことはなぜパワハラにならないのか

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	6	質問者(会派)	佐々木 一 夫 (新政クラブ)
----	---	---------	-----------------

項目	要 旨
6. 飲食店への新型コロナウイルス感染拡大の責任押しつけについて	(1) まるで飲食店を悪者に行っているような風潮があるが、市としてどう考えるか

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	7	質問者(会派)	辻本 智 (モ・レラ(静かな風))
----	---	---------	-------------------

項目	要 旨
1. 北海道における緊急事態宣言と深川市の対応について	(1) 「不要不急の外出や移動の自粛」の周知において、国の基本的対処方針及び北海道の周知文書と市の広報内容に差異が生じているが、その経緯について伺う
	(2) 緊急事態宣言の発出及び期間の延長を受けた5月15日及び31日に行われた市対策本部会議において、どのようなリスク評価を行い公共施設ごとの閉鎖もしくは再開が決定されたのか。また、その検討は施設ごとに行われたのか、経緯と議事録の内容について伺う
	(3) 突発的自然災害対応業務継続計画とは区別した、新型コロナウイルス感染症対応業務継続計画の策定が必要と考えるが、改めて見解を伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	7	質問者(会派)	辻本 智 (モ・レラ(静かな風))
----	---	---------	-------------------

項目	要 旨
2. 業種別ガイドラインについて	(1) 国の基本的対処方針で示された業種別ガイドラインの概要について伺う
	(2) 市内事業者のガイドライン策定状況数について伺う
	(3) スポーツを通じた高齢者向け健康二次被害予防ガイドライン、図書館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン等、国及び関係団体から発出された業種別ガイドラインに基づいた図書館とパークゴルフ場における策定状況について伺う
	(4) 指定管理者制度による公共施設管理においてガイドラインの内容確認と充実に行政はどのように関わっているのか伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	7	質問者(会派)	辻本 智 (モ・レラ(静かな風))
----	---	---------	-------------------

項目	要 旨
3. 市内防犯カメラの設置と運用に係る条例制定について	(1) 市内の防犯カメラ設置台数や稼働状況、管理について行政が掌握している内容を伺う
	(2) 納内時計台プラザのカメラ稼働に係る内規の策定内容と市民周知について伺う
	(3) 個人情報保護法において防犯カメラの運用規定がどのように示されているか、他自治体の条例制定等の取組状況について伺う
	(4) 市内公共施設等の管理規定において、防犯カメラに記録された個人情報の管理・運用条例策定の考え方について伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	8	質問者(会派)	松本雅祐 (令和公明クラブ)
----	---	---------	----------------

項目	要旨
1. 新型コロナワクチン接種について	(1) 7月末をめどに高齢者のワクチン接種を完了させる対応について
	(2) ウェブでの接種予約と確認方法について
	(3) 副反応の周知について
	(4) 基礎疾患のある方の先行予約期間について
	(5) 予診票の記載内容について
	(6) ワクチンが無駄にしない取組について

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	8	質問者(会派)	松本雅祐 (令和公明クラブ)
----	---	---------	----------------

項目	要 旨
2. 移住定住の推進について	(1) 移住定住の取組と実績について
	(2) 空き家バンクの実績と課題について
	(3) 移住者への記念品について
	(4) 移住定住者への支援の拡充について
3. 家族の介護や世話を するヤングケアラー の実態と支援について	(1) ヤングケアラーの実態調査について
	(2) ヤングケアラーの支援と周知について

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	8	質問者(会派)	松本雅祐 (令和公明クラブ)
----	---	---------	----------------

項目	要旨
4. 避難情報の変更と災害弱者の個別避難計画及び備蓄品について	(1) 避難情報の変更に伴う周知について
	(2) 災害弱者の逃げ遅れを防止する個別避難計画の作成について
	(3) 生理用品を防災備蓄品として備える考えについて
5. 生理の貧困について	(1) 生理の貧困に対する市の考えについて
	(2) 生活困窮者への支援について
	(3) 小中学校への生理用品の支援について

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	9	質問者(会派)	田 畑 陽 美 (民主クラブ)
----	---	---------	-----------------

項目	要 旨
1. 食品ロス削減の取組について	(1) 食品ロス削減推進法が令和元年10月1日に施行され、本市も「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参画し、食べきりの啓発キャンペーンや30・10運動などを行ってきているが、市民周知も含め、食品ロス削減の今後の取組について伺う
	(2) 食品ロス削減は、食育の推進やSDGsの目標達成の観点から重要な課題であることから、北海道でも北海道食品ロス削減推進計画が令和3年3月25日に策定されている。食品ロス削減推進法に基づいた市の考えを伺う
2. 移住希望者を対象とした空き家紹介事業について	(1) 地域振興課、移住定住サポートセンター、移住コンシェルジュの活躍もあり、本市への移住者は年々増加しているが、移住希望者のほとんどは、中古一戸建て住宅を希望していると聞く。空き家紹介が新事業として開始されてからまだ短期間ではあるが、事業の有効性を伺う
	(2) 移住者に特化した、中古住宅改築への支援はあるのか伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	9	質問者(会派)	田 畑 陽 美 (民主クラブ)
----	---	---------	-----------------

項目	要 旨
3. スマート農業の導入促進について	(1) 令和3年度市政の方針や第8次深川市農業振興計画の中で、作業の効率化・省力化を推進するため、スマート農業の導入を促進するとあるが、スマート農業を本市でどう展開していくのか。スマート農業は生産コストを削減し、農家所得を上げることが目標とされているが、導入する際の初期費用は高額である。スマート農業導入に向けた支援の考えについて伺う
	(2) 本市においてスマート農業の導入はどこまで進んでいるのか伺う
4. 第六次深川市総合計画について	(1) 令和4年度からの10年間のまちづくりの指針となる第六次深川市総合計画が着手され、新しいまちづくり市民協議会委員の募集も行われた。第五次では、市民公募の委員が5人いたが、今回は4人以内と減になっている。市民参加の協議会は大変有効だと思うが、市の考えを伺う
	(2) 策定に向けた今後のスケジュールについて伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	10	質問者(会派)	北村 薫 (公政クラブ)
----	----	---------	--------------

項目	要 旨
1. 新型コロナワクチン接種について	(1) 65歳以上の接種状況について伺う
	(2) 64歳以下の接種の見通しについて伺う
2. 農家における期間限定の人材確保について	(1) 期間限定での人材確保について市の考えを伺う
	(2) 遠方から来るアルバイト等に対する交通費、宿泊費等のかかり増し経費の対応について
3. 市街地の空き地について	(1) 市街地の老朽空き家が解体され空き地が多く見られる。人口減少とともに深川市の衰退をより感じてしまうが、市としてコンパクトなまちづくりなどの対策について伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	10	質問者(会派)	北村 薫 (公政クラブ)
----	----	---------	--------------

項目	要 旨
4. 農村地域の市道整備について	(1) 現状、農村地域において未舗装道路が多くあるが、今後の整備計画について伺う
	(2) 舗装工事後40年以上が経過し、かなり傷んでいる市道がある。改修の考えについて伺う

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	1 1	質問者(会派)	北 名 照 美 (日本共産党)
----	-----	---------	-----------------

項 目	要 旨
1. 新型コロナウイルス感染症と東京オリンピック・パラリンピックについて	(1) 現下は新型コロナウイルスを抑え込み、封じ込めに総力を尽くす時であり、東京オリンピック・パラリンピックは中止すべきと考えるが、山下市長の見解を伺う
2. 深川市最大の不祥事だった2006年官製談合事件について	(1) 原因をどう総括しているのか
	(2) 住民監査請求、住民訴訟の評価について
	(3) 責任、処分を広報でどのように市民周知したのか
	(4) 市の敗訴で支払われた損害賠償額とその用途について
	(5) 河野前市長3期目の退職金はどのような扱いになっているのか。返還状況を市民に知らせる義務あるいは市民の知る権利があるのではないか

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	11	質問者(会派)	北名照美(日本共産党)
----	----	---------	-------------

項目	要旨
3. アイヌ民族に対する対応について	(1) 差別の実態とその原因は何か。差別をなくすためにはどういうことが必要と考えるか伺う
	(2) 北海道旧土人保護法、同化政策等の過去の誤った政策に対し、日本政府として謝罪すべきと考えるが、市の見解を伺う
4. 市立病院放射線課管理職員に関わる問題について	(1) 今議会で調査報告ができない理由を伺う
	(2) 厚生文教常任委員会で令和元年7月1日に事業者が謝罪にきたと説明した件について、当該者の証言を述べるべきではないか
	(3) 医療機器購入で癒着が疑われるが、機器、物品、薬剤の購入方法について伺う
	(4) 事業者との関係マニュアル及びチェック体制の検証について

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	11	質問者(会派)	北名照美 (日本共産党)
----	----	---------	--------------

項目	要旨
5. 選挙行政について	(1) 年代別の投票率の現状と問題点について
	(2) 投票率向上の対策を伺う
6. 生活保護行政について	(1) 厚生労働省の押さえている捕捉率及び算定根拠と国の対策について
	(2) 深川における捕捉率及び算定根拠と制度周知について
7. 医療、福祉行政について	(1) 前立腺がんのPSA検査について
	(2) 自家用車で通院している透析患者への通院費助成について

第2回市議会定例会 一般質問通告表

順位	11	質問者(会派)	北名照美 (日本共産党)
----	----	---------	--------------

項目	要旨
8. 平和行政について	(1) 核実験への抗議及び平和首長会議における活動実績について
	(2) 深川市平和運動推進協議会で提起された戦争体験手記、戦争遺品収集の取組状況とタイムスケジュールについて